

PROSPECC

デジタルビデオエディター

DVE783

取扱説明書

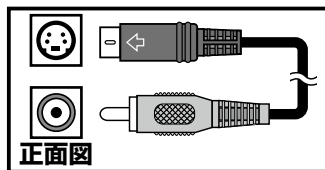
◆接続編

- 接続の前に----- 15～16
- 接続のしかた
S端子ケーブル(別売)を使用して接続する----- 17～18
専用接続ケーブル(同梱品)を使用して接続する----- 19～20
- プレイステーション2/3との接続----- 21～22
- ハイブリッドレコーダーとの接続
S端子ケーブルを使用する場合----- 23～24
専用接続ケーブル(同梱品)を使用する場合----- 25～26
- ビデオ入力端子のある
パソコンとの接続----- 27～28

接続の前に

●接続に使用する端子の種類

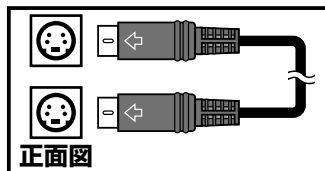
本製品と再生機器/録画機器を接続するために必要な端子例です。



専用接続ケーブル[DVE002] 映像用(2本同梱)

映像接続用のケーブルです。ピン端子を使用して接続する場合に使用します(2本同梱されています)。DVE002を使用して2系統出力する場合は、別途お買い求めください。

※このケーブルはDVE783⇔AV機器間にも使用してください。他のAV機器間(再生機とAVセレクター間など)に接続すると、映像が白黒になります。



S端子ケーブル[DVE001] 映像用(別売品)

映像接続用のケーブルです。ピン端子に比べ、より高画質な映像を楽しめます。(必要に応じて別途お買い求めください)

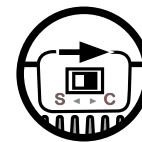
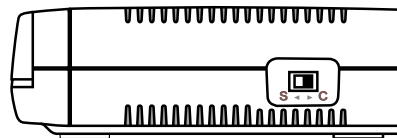
※市販品代用可

⚠️ ご注意

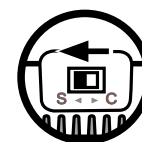
S端子ケーブルと専用接続ケーブル[DVE002]は同時に使用できませんので、必ず入力側と出力側の映像ケーブルはすべて同じ種類のものを使用してください。S端子ケーブルとDVE002を混合使用した場合、映像が白黒になります。

●スライドスイッチの設定

同梱されている専用接続ケーブルDVE002を使用する場合は、スライドスイッチを「C」に、S端子ケーブルを使用する場合は「S」に設定してください。工場出荷時は「C」側にセットされています。



専用接続ケーブル
DVE002を使用する場合



S端子ケーブルを
使用する場合

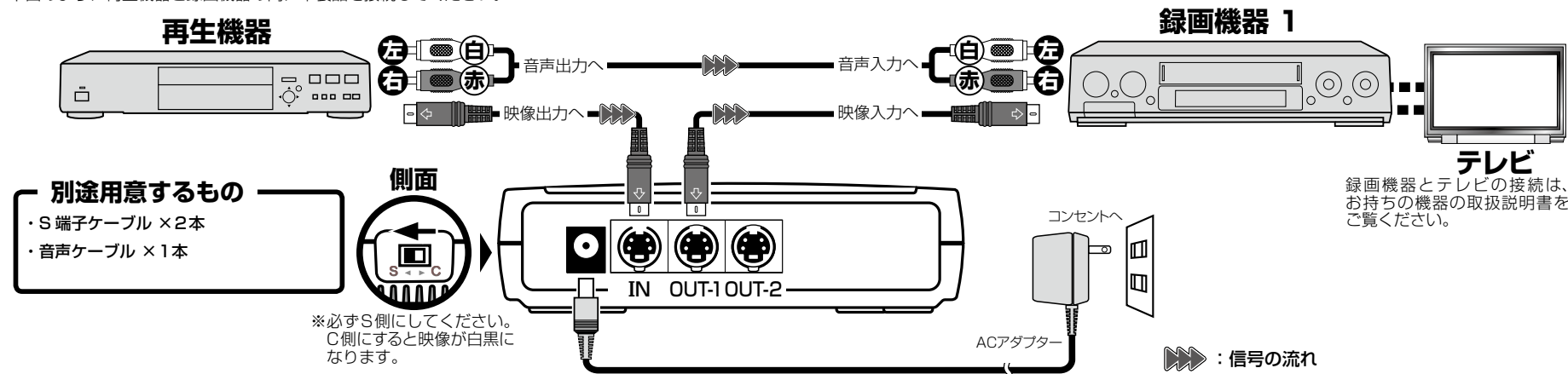
! ワンポイント

- S端子ケーブルとDVE002の混合使用はできません。混合使用すると白黒映像になったり予期せぬ不具合が発生する恐れがあります。
- S端子ケーブルを使用する場合は本機のS/CスイッチをS側に、DVE002を使用する場合はS/CスイッチをC側に切り替えてください。S/Cスイッチが正しく設定されていないと、白黒映像になったり予期せぬ不具合が発生する恐れがあります。

接続のしかた S端子ケーブル(別売)を使用して接続する

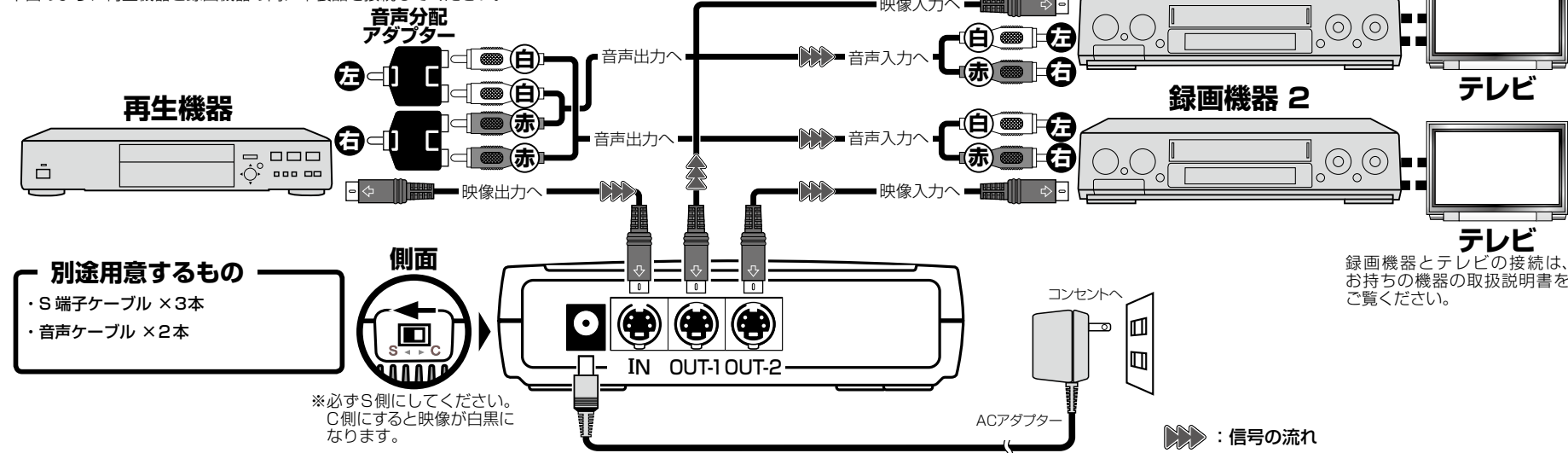
出力を1系統のみ使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



出力を2系統使用する場合

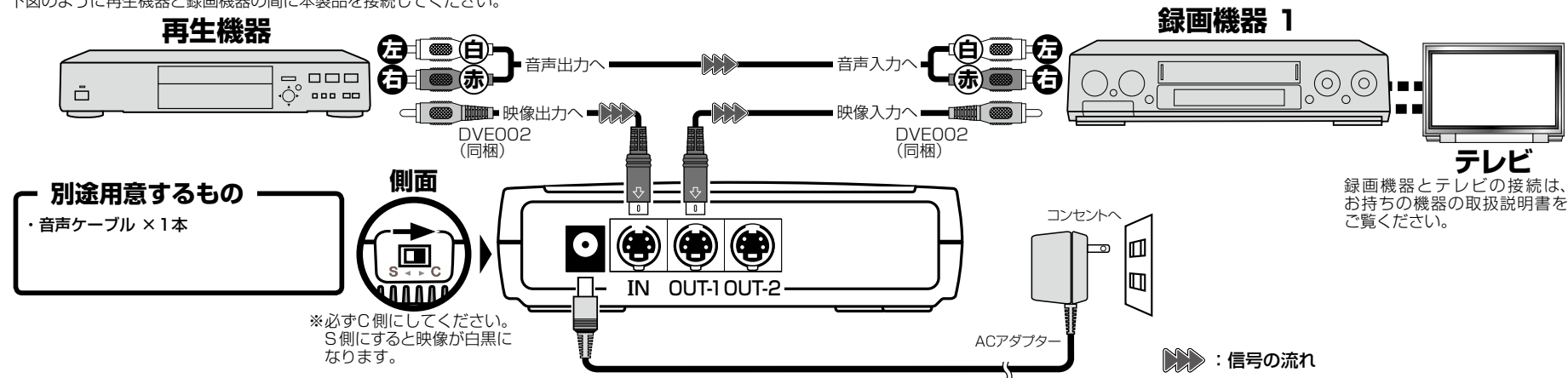
下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



接続のしかた 専用接続ケーブル(同梱品)を使用して接続する

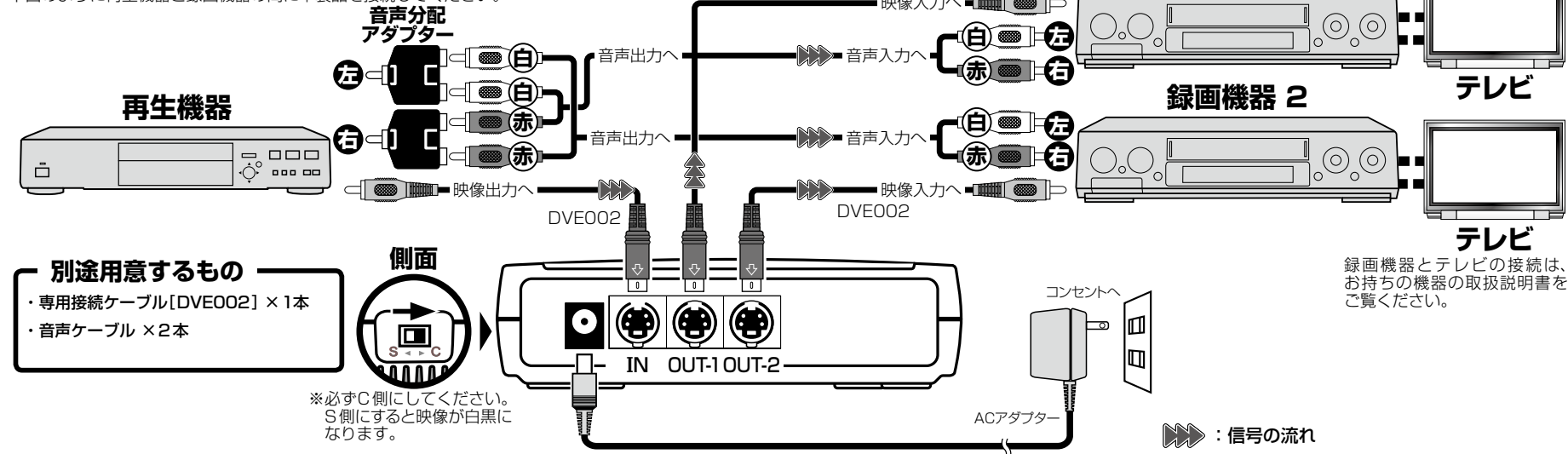
出力を1系統のみ使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



出力を2系統使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。

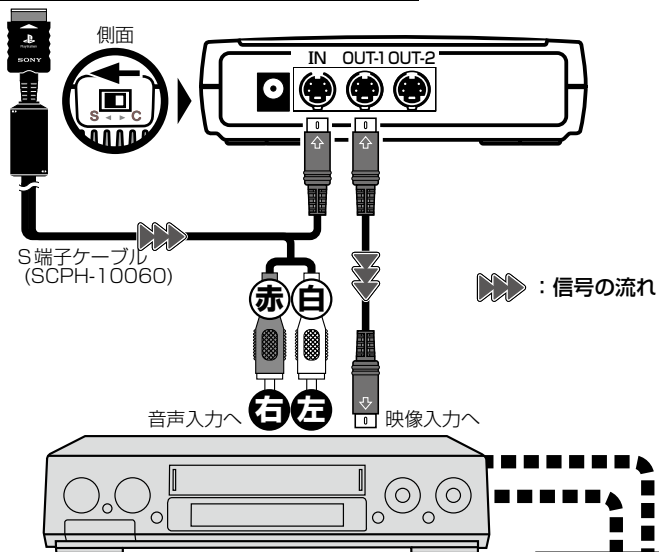


プレイステーション2/3との接続

プレイステーション2/3を再生機器として使用できます。(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントより発売されているS端子ケーブル(SCPH-10060)を使用するとより高画質な映像を楽しめます。お近くのソニー製品販売店などでお買い求めください。

S端子ケーブル(SCPH-10060)を使用する場合

プレイステーション2/3本体



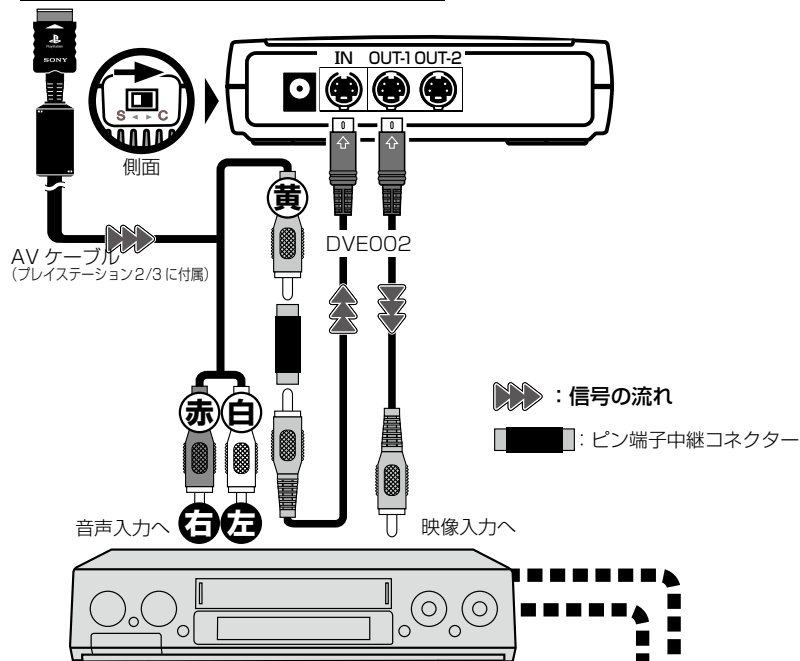
別途用意するもの

- ・ S端子ケーブル ×1本
- ・ SCPH-10060 ×1本

録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

プレイステーション2/3に付属のAVケーブルを使用する場合

プレイステーション2/3本体



別途用意するもの

- ・ ピン端子中継コネクタ(市販品) ×1個

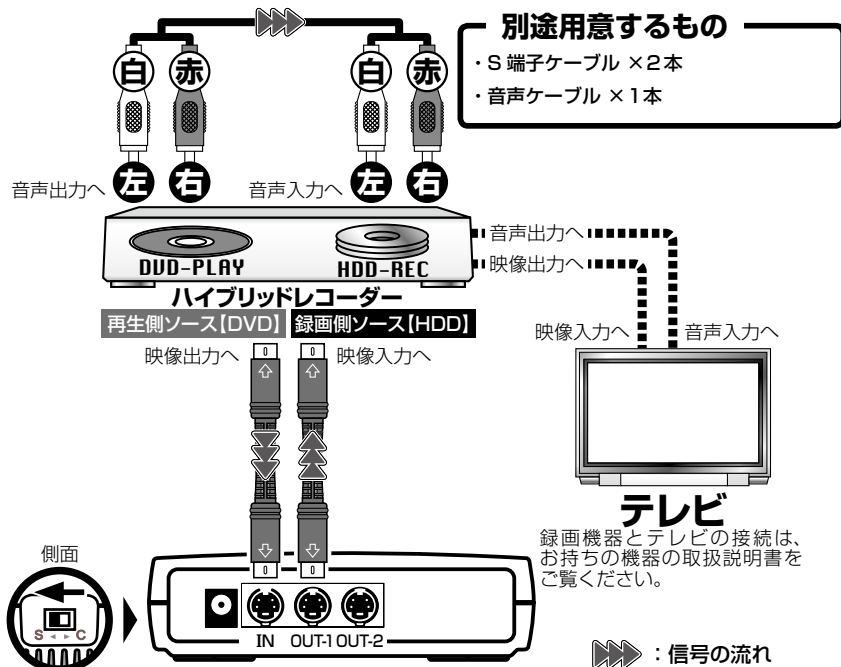
録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

プレイステーション2及び3は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

ハイブリッドレコーダーとの接続

HDD&DVD一体型機1台のみでDVDを再生して、HDDに一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。

レコーダーにAV出力が2系統以上装備されている場合



録画手順

- ① HDDに切り替え、チャンネルを外部入力(L1・L2など)に設定します。
- ② 編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

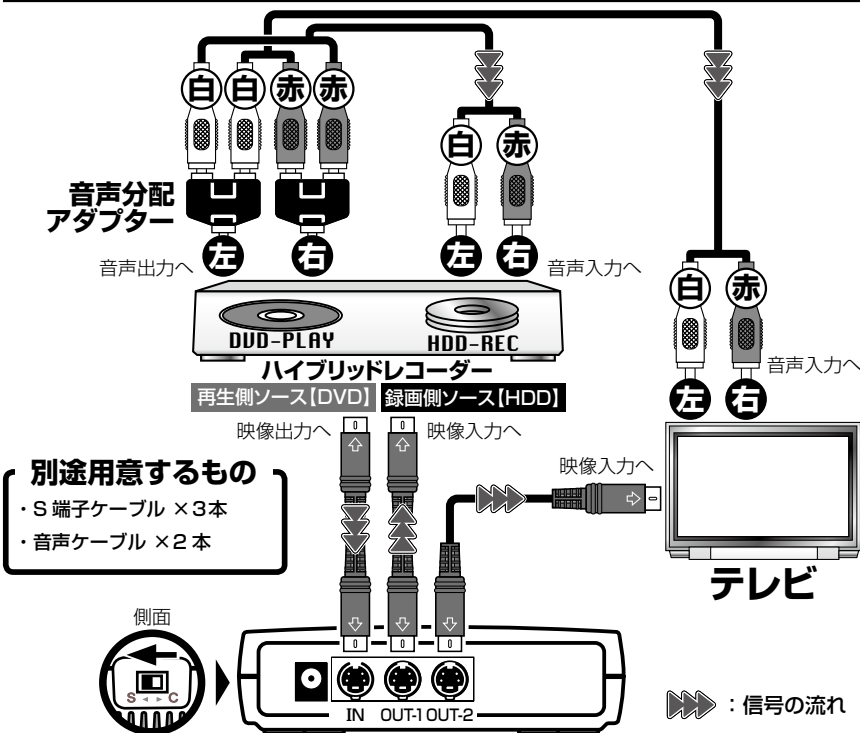
!ワンポイント!

- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ・ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本製品の回路を通した映像ではありません。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※ 外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・上記「録画手順」中に映像及び音声ハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD再生をスタートした時点で治まります。

S端子ケーブルを使用する場合

※ハイブリッドレコーダー：ハードディスクとDVDなど録画メディアが複数ある機器

レコーダーにAV出力が1系統のみ装備されている場合



録画手順

- ① HDDに切り替え、チャンネルを外部入力(L1・L2など)に設定します。
- ② 編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

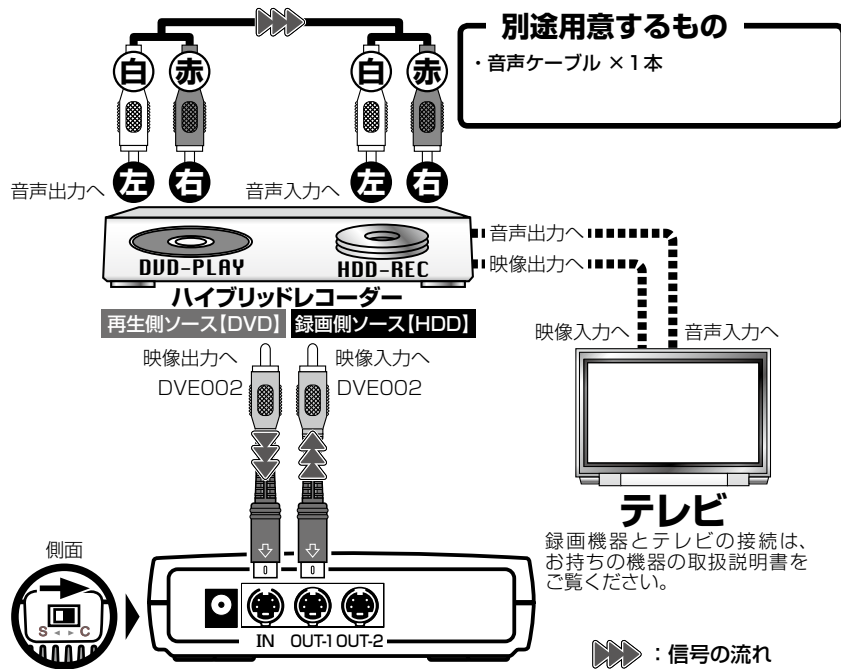
!ワンポイント!

- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※ 外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・上記「録画手順」中に映像及び音声ハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD再生をスタートした時点で治まります。

ハイブリッドレコーダーとの接続

HDD&DVD一体型機1台のみでDVDを再生して、HDDに一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。

レコーダーにAV出力が2系統以上装備されている場合



録画手順

- ① HDDに切り替え、チャンネルを外部入力(L1・L2など)に設定します。
- ② 編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

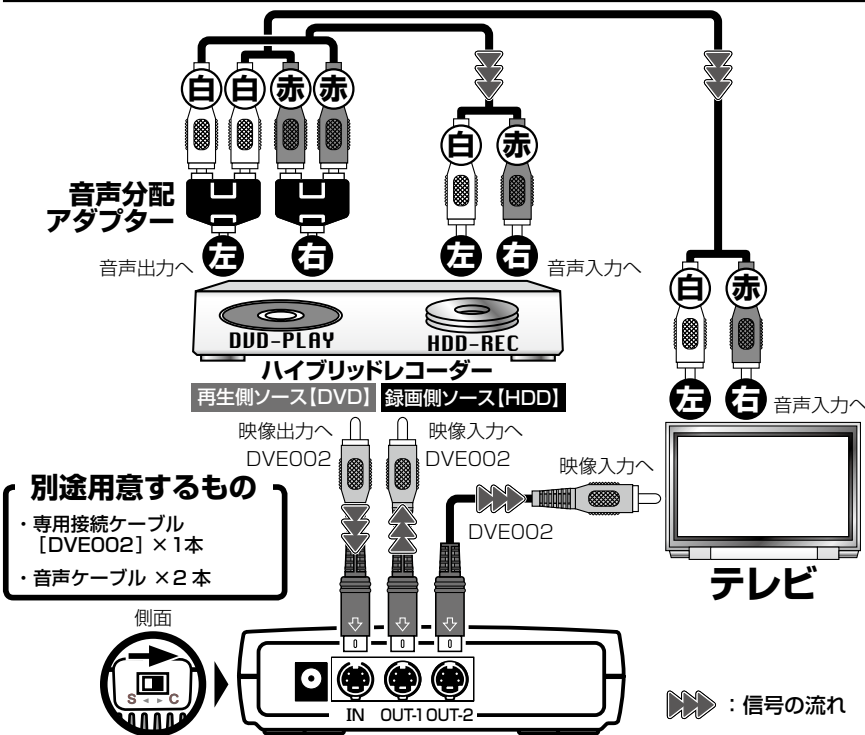
！ワンポイント！

- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ・ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本製品の回路を通した映像ではありません。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※ 外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD再生をスタートした時点で治まります。

専用接続ケーブル(同梱品)を使用する場合

※ハイブリッドレコーダー：ハードディスクとDVDなど録画メディアが複数ある機器

レコーダーにAV出力が1系統のみ装備されている場合



録画手順

- ① HDDに切り替え、チャンネルを外部入力(L1・L2など)に設定します。
- ② 編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

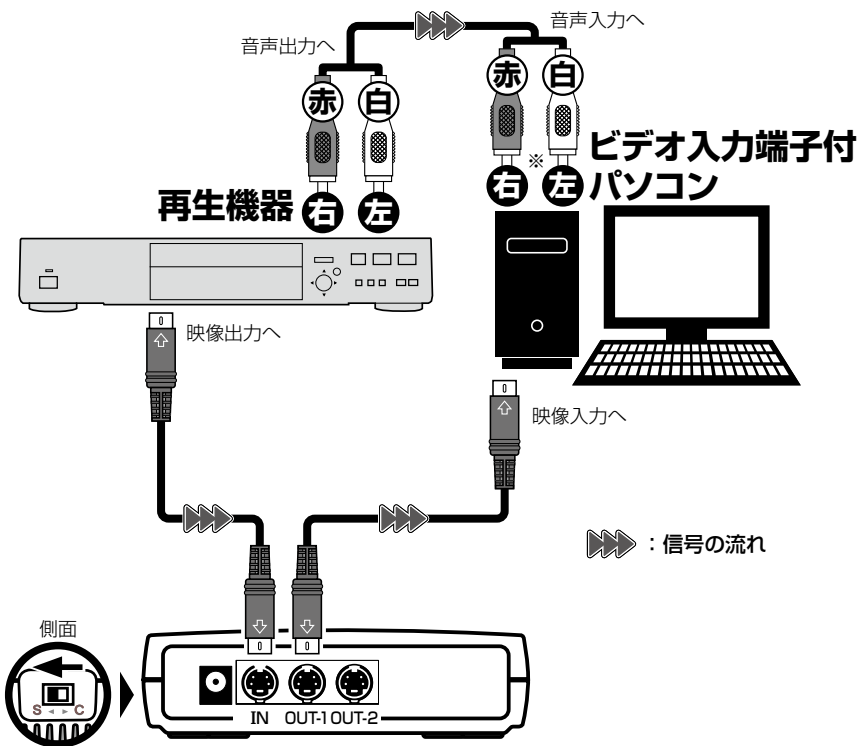
！ワンポイント！

- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※ 外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD再生をスタートした時点で治まります。

ビデオ入力端子のあるパソコンとの接続

ビデオ入力端子を装備しているパソコンをお持ちの場合、本製品で編集した映像 / 音声をパソコンに取り込むことができます。※ 別途編集用のソフトが必要となる場合があります。

S端子ケーブルを使用する場合

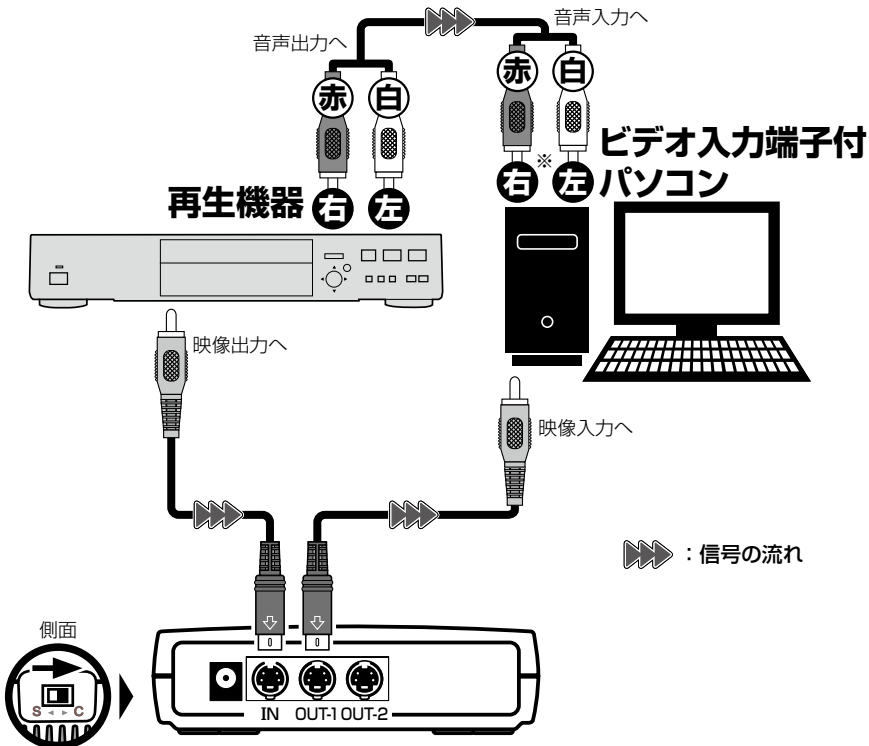


別途用意するもの

- ・ S端子ケーブル × 2本
- ・ 音声ケーブル × 1本[※]

※パソコン側の入力ジャック形状により、ケーブルが図のものとは異なる場合があります。

専用接続ケーブル (同梱品) を使用する場合



別途用意するもの

- ・ 音声ケーブル × 1本[※]

※パソコン側の入力ジャック形状により、ケーブルが図のものとは異なる場合があります。